

教 員 個 人 調 書

教 育 研 究 業 績 書		
令和 5 年 5 月 21 日		
氏名 小出 益徳 ㊞		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
リハビリテーション医学	リハビリテーション科学・ヘルスプロモーション・小児運動器理学療法	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例 ・日常生活動作学（前期 2 単位）Power Point、マルチメディア技術による直観的な理解をねらった講義を展開し、理学療法各疾患の理解を目指した。 ・中枢神経障害理学療法学Ⅲ（前期 2 単位）Power Point、画像データ（CT 像、MRI 像）、症例ビデオ等を組み合わせ、マルチメディア技術による人体の構造・機能、中神経障害の病態生理の直観的な理解と基礎、評価、治療のイメージ確立をねらった講義を展開した。 ・理学療法管理学（前期 2 単位）Power Point、説明ビデオ等を組み合わせ、管理・マネジメントのイメージ確立をねらった講義を展開した。	平成 29 年 4 月～ 令和 3 年 4 月～ 令和 4 年 4 月～	理学療法学科 2 年を対象に、毎年、日常生活活動の基礎、評価、訓練、車椅子操作方法の実技、各疾患における福祉用具の適応と選択方法、社会生活環境に関して講義を行っている。 理学療法学科 3 年を対象に、毎年、パーキンソン病、運動失調症等の神経系理学療法に関して講義を行っている 理学療法学科 3 年を対象に、理学療法士の職業倫理、関連法規、診療報酬体系、キャリア形成を理解し、理学療法を行う際の ICF や業務に関連する管理・マネジメント等に関して講義を行っている。
2 作成した教科書，教材 ・日常生活動作学の補助教材を作成 総論講義のプリント補助教材を配布し、講義を補完した。 ・中枢神経障害理学療法学Ⅲの補助教材を作成 総論講義のプリント補助教材を配布し、講義を補完した。 ・理学療法管理学の補助教材を作成 総論講義のプリント補助教材を配布し、講義を補完した。	平成 29 年 4 月～ 令和 3 年 4 月～ 令和 4 年 4 月～	理学療法学科 2 年に対して、日常生活動作学で視覚教材の開発を行っている。 理学療法学科 3 年に対して、中枢神経障害理学療法学Ⅲ で視覚教材の開発を行った。 理学療法学科 3 年に対して、理学療法管理学 で視覚教材の開発を行った。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・授業評価アンケート（平成 23 年度～令和 4 年度） ・職業実践専門課程を取得 ・外部評価の認証	平成 23 年 8 月～ 令和 5 年 3 月 平成 30 年 3 月 平成 31 年 4 月～ 令和 6 年 3 月	学生による授業評価アンケートにおいて高い評価を得た（授業内容にほぼ満足と回答した学生が 9 割を占めた）。 文部科学省より認定された。 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構より教育内容及び教育の質に関して高い評価を受けて認定された。

4 実務の経験を有する者についての特記事項				
・米国ロマリンダ大学「学士提携プログラム」責任者		平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	米国ロマリンダ大学との学士提携プログラムにおいて短期留学プログラムのコーディネート及び理学療法学科米国研修（「解剖見学実習」や「リハビリテーション」ワークショップ）を実施できるよう現地担当者と交渉打ち合わせを行った。	
・「高齢者運動指導」に関してのワークショップ 運営責任者及び講師		平成 29 年 5 月～令和 1 年 10 月	社会福祉法人風薫会での研修「高齢者運動指導」ワークショップを約 100 名の理学療法学科 4 学生に対して実施できるよう現地担当者と交渉打ち合わせを行い、引率と研修支援を実施した。	
・（公社）日本理学療法士協会 第 914 回臨床実習指導者講習会（「理学療法士作業療法士臨床実習指導者講習会の開催指針」平成 30 年 10 月 5 日付け医政発 1005 号第 2 号による）（主催：一般社団法人全国リハビリテーション学校協会、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会、共催：一般社団法人三重県理学療法士会）		令和 4 年 11 月 5 日～6 日	（公社）日本理学療法士協会 第 914 回臨床実習指導者講習会で、講義 1（理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要）の講師を務めた。	
5 その他				
・学校法人大橋学園 ユマニテク医療専門学校・ロマリンダ大学保健学部 提携 10 周年記念誌・記念ボードの作成と発行		平成 22 年 4 月	曾爾彊、Keiko Khoo、椿井裕樹、田中宏明、柴山靖、中村清美、熊谷ちほり、 <u>小出益徳</u>	
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概 要	
1 資格、免許 理学療法士		平成 3 年 5 月		
2 特許等 なし				
3 実務の経験を有する者についての特記事項 なし				
4 その他 なし				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	
（著書） ・高齢者のための地域型運動プログラムの理論と実際-自分と隣人の活力を高めるウエルビクスのすすめ ・シンプル理学療法学シリーズ日常生活活動学テキスト改訂第 3 版	共著	平成 18 年 6 月 令和 1 年 9 月	ナッパ 第 4 章運動プログラム pp51～98 南江堂 第 9 章起居・移動動作②床上動作 pp101～108	竹島伸生, M. E. Michael, 那須英里子, 小泉大亮, 長谷川龍一, <u>小出益徳</u> , N. L. Michael, 李成喆 基本動作の床上移動と車いす移動の種類と目 細田多穂（監修）, 河元岩男, 坂口勇人, 村田伸（編集）大城昌平, 重森健太, 矢倉千昭, 加藤真弓, <u>小出益徳</u> , 溝田勝彦, 小谷泉, 杉本論, 林弘康, 安彦鉄平
（学術論文） 1. Japanese Undergraduates' Reticence	共著	平成 25 年 9 月	The Asian Conference on	Khoo K, <u>Koide Y</u> , Tsubai Y.

toward Dialectic Pedagogy: Reasons and Remedies.			Education 2013,Official Conference Proceedings2013, 1417-1427.	
2. エビデンスにつなげるための臨床場面で身近に使える測定法 23 身体活動量の測定方法	共著	平成 26 年 3 月	理学療法 31(3), pp323-330.	<u>小出益徳</u> ,船久保陽子
3. The relationship between the accessory anterolateral talar facet and angle of Gissane.	共著	平成 30 年 11 月	Journal of Orthopaedics Trauma Surgery and Related Research.13,4-7.	<u>Koide Y</u> ,Sakuma E Sakuma, Ueki Y, Hattori K, Ueki T, Wada I.
4. 大橋学園高校医療コースの実践報告（第 1 報		令和 5 年 3 月	ユマニテク教育 研究所紀要 2, pp52-61	<u>小出益徳</u> ,田中宏明,山崎治行,北川順子,青木孝哉,大塚亮,東松恵子,堀重信,片山恵里,鈴木達哉,山本歩,大橋正行
(その他)				
1. 健常者立位重心動揺における同時的フィードバック効果について	—	平成 14 年 3 月	第 13 回三重県理学療法士学会(津市)	<u>小出益徳</u> ,田中千陽,内藤令子,リチャード・クンブス,興梠英二,對馬明,浅井友詞
2. 高齢者のバランス機能改善と QOL について	—	平成 17 年 5 月	第 40 回日本理学療法学会(大阪市)	<u>小出益徳</u> ,浅井友詞,興梠英二,柴山靖,田中千陽,牧本卓也,長田麻岐,八木格,玉田香,森香奈子,帯屋芽衣,大澤香織,金森美奈子
3. 地域型在住高齢者を対象とした 2 年間に亘る地域型・家庭型運動の長期的効果に関する研究	—	平成 19 年 9 月	第 62 回体力医学大会(秋田市)	<u>小出益徳</u> ,山田ともみ,那須英里子,李成喆,小泉大亮,竹島伸生
4. 感覚統合機能テストを用いた姿勢安定性評価に関する若年者と高齢者の違いに関する研究	—	平成 29 年 11 月	第 5 回日本介護福祉・健康づくり学会(岐阜)	<u>小出益徳</u> ,浅井友詞,渡辺元夫,森本浩之,仁木淳一
5. 後縦靭帯の脊柱管に対する被覆率の性別・椎体高位による差の研究	—	平成 29 年 10 月	日本解剖学会 第 77 回中部支部学術集会(豊明市)	<u>小出益徳</u> ,佐久間英輔,井上浩一,篠原良章,森本浩之,浅井勇人,額瀨慎之介,和田郁雄,植木孝俊
6. ASIC1a ノックアウトマウスの育児障害	—	平成 30 年 10 月	第 31 回日本整形外科基礎学術集会(福岡市)	若林健二郎,佐久間英輔,植木孝俊,大塚隆信,和田郁雄,水谷潤,植木美乃,村上里奈,青山公紀,井上浩一,河命守,白井康裕,森本浩之, <u>小出益徳</u> ,浅井友詞
7. パーキンソン病のすくみ足の対応	—	令和 2 年 7 月	ユマニテク医療福祉大学校オンライン卒後研修会(四日市市)	<u>小出益徳</u>
8. パーキンソン病の転倒解決策	—	令和 2 年 7 月	ユマニテク医療福祉大学校オンライン卒後研修会(四日市市)	<u>小出益徳</u>